



どうけんフィロソフィ

徹底した現場第一主義で未来教育の創造を



「どうけんフィロソフィ」策定に向けて

道立教育研究所の7つのミッション

7 Missions

- 1 教育に関する調査研究を行います
- 2 教育施策の参考となる情報を提供します
- 3 教育関係職員の研修を行います
- 4 教育関係職員の教育に関する研究相談と資料提供を行います
- 5 道民の教育に関する相談に応じます
- 6 教育に関する資料の収集や保存を行います
- 7 教育の振興に向けて必要な事業を行います

共有・実践

どうけん

フィロソフィ

所員の行動指針!

道立教育研究所では、未来社会の担い手である子どもたちが、たくましく生きていくために必要と考えられる能力等を育てるため、7つのミッションを踏まえ、学校や関係機関、大学や企業等との連携も視野に、関係する方々と協働しながら、未来志向の教育を創造していくことが重要であると考えています。

このような認識の下、道立教育研究所は、北海道の教育関係者や学校が持つ可能性を最大限に発揮できるよう、徹底した現場第一主義により、教育研究所が持つ機能を高め続けながら学校や地域社会から、期待され、成果を上げることができる組織となるよう、一層の充実を目指します。

そこで、この度、これまで学校教育に携わってきた関係者の実践を通して得た教育理念を基盤に、仕事の哲学、未来に向けて挑戦する姿勢などの所員の行動指針をまとめた「どうけんフィロソフィ」を作成しました。

これらは一見、当たり前に見えますが、一人一人が、常に深く心に留めながら、日々の業務の中で実践していく大切な意識・価値観・考え方です。

今後、全所員でこの「どうけんフィロソフィ」を共有・実践しながら、新しい教育モデルや研修モデル、学校とつながるしくみ、働きがいと生きがいを生み出し、学校を介して、素晴らしい教育を子供たちに届けたと考えています。

この理念の実現に向けて、道立教育研究所の所員は、学校で学ぶ子どもたちと、学校で働く大人、そして社会に生きる人々を常に思い描きながら、以下の行動指針に基づいて仕事に臨みます。

平成 30 年6月5日

北海道立教育研究所長 北村善春

どうけんフィロソフィ

「徹底した現場第一主義で未来教育を創造しよう！」

第1章 全ての所員が働く上で大切にしたいこと

「目的意識」

- 「誰のために」「何のために」を常に仕事の中核に据えます。
- 仕事のゴールとプロセスを具体的にイメージします。

「現場第一主義」

- 学校教育現場の実践に敬意を表し、学校との積極的なかかわりを通して、求める支援を的確に把握します。
- その上で、子どもたちが、日々、学ぶ喜びを感じることができる学校教育を実現するために、支援方策を学校と一緒に考え適切な方法で提供します。

「未来教育の創造」

- これからの社会を生きる子どもたちの教育に大きな責任を有していることを自覚し、未来社会を想定した様々な教育の実践を学びます。
- その上で、未来に向けて、今なすべき教育の在り方を、関係機関、大学や企業等の協力を得ながら、学校と一緒に研究し実現につなげます。

「課題への大きな挑戦」

- たとえ課題が大きくとも、学校教育の充実に向け、情熱をもって果敢に挑戦します。
- 前例がないことであっても、効果的な支援方策を生み出す挑戦をします。

「成長」

- 社会の変化や未来社会を予測する情報に積極的にかかわり、自分自身の知識と感性を常に更新し、魅力的な所員となります。
- 能力は必ず高められることを信じて、研鑽に励むとともに、全体の奉仕者である公務員としての使命を自覚し、自らの仕事に情熱と責任を持って取り組みます。

第2章 管理職員が大切にしたいこと

「業務マネジメント」

- 業務の目的、達成レベル、期限、プロセスを、部下職員にわかりやすく示すとともに、部下職員の資質・能力、長所等を最大限に引き出すための業務の進め方を工夫し、自信を与えます。
- 外部からの評価や提案も交えた業務の検証・改善を行い、未来教育の創造に向け、質の高い業務の実現を目指します。

「人材育成」

- 仕事への情熱を大切にし、管理職員として、部下職員の心に情熱の灯をともし続けます。
- 仕事の原理原則となる考え方や進め方を確実に伝承し、部下職員を支援しながら、提案を尊重し、主体的で創造的な仕事ができる部下職員を育てます。

「職場環境づくり」

- 職場での情報共有を大切にし、報告・連絡・相談を徹底するとともに、部下職員の挑戦を励まし、見守りながら、失敗を恐れない職場の雰囲気醸成します。
- 部下職員の健康管理はもとより、悩みや相談にも耳を傾け、一人一人が健康で元気に働けるための適切な支援を行います。

第3章 組織として大切にしたいこと

「組織の役割」

- 7つのミッションに対して、組織としての役割を果たせるよう、広い視野と深い洞察力をもって、社会や最新の教育改革の動向を把握します。
- 様々なニーズに対応できる専門性を高め、新しい教育の研究や施策への提案を行います。

「協働」

- 学校教育現場を支援するために、所内はもとより、学校、関係機関、大学や企業等との最も効果的な協働体制を創造します。
- 誠実で正直であることを大切に、協働する人と人々が相互に高め合い、信頼し合う関係をつくりながら、新たな価値や感動を生み出します。